



Citrixの調査で、イノベーションへの投資が5,000億ドル以上の収益を生むことが明らかに

コロナ禍、新しいテクノロジーや働き方を採用したことで
グローバルの産業全体で6,780億ドルの収益増につながる

-
-

本リリースは2021年10月26日米国で発表された[プレスリリース](#)の抄訳です。

フロリダ州フォートローダーデール発 # 2021年10月26日 # [Citrix Systems, Inc.](#) (NASDAQ: CTXS) は、昨年、企業が新しいテクノロジーや柔軟な働き方改革への投資を行ったことで、グローバルの産業全体で6,780億ドルの収益増加につながり、今後も継続的な成長が期待できることが明らかになりました(Citrix調査『[ハイパーイノベーションの時代](#)』)。

Citrixのビジネス戦略担当エグゼクティブ・バイスプレジデント ティム・ミナハン (Tim Minahan) は、「新型コロナウイルスのパンデミックを通して、オフィスがどこにあるのか、どこで働くのかに関わらずイノベーションは起こせるということが証明されました。ビジネスリーダーたちは当初は懐疑的でしたが、今では[ハイブリッドワークがもたらすメリット](#)を認識しており、従業員が場所を問わず創造性や革新性を生み出せるツールやプロセスとともに働き方改革を進めています」と述べています。

加速するイノベーション

かつては対面作業でしか創造性は生まれないという考えが主流でしたが、テクノロジーがこの考えを変えました。

- 『ハイパーイノベーションの時代』の調査に参加したビジネスリーダーの約9割が、パンデミックの影響による新しいワークツールの導入により、個人やチームの交流が大幅に改善されたと回答
 - 同調査参加者の80%が、今後1年間で組織はハイパーイノベーションに向けて転換を進め、その結果、これまで以上に多くのアイデアを生み出すようになると予想
- ### コラボレーションの再考

『ハイパーイノベーションの時代』の回答者によると、対面でのコミュニケーションが行われない中、従業員が新しいつながり方を発見することで個人やチームのコラボレーションは大幅に改善され、より大きなイノベーションをもたらしています。

- 調査対象者の93%が、デジタルコラボレーションの増加にともない、組織全体から多様な声が届くようになり、またより多くのアイデアが表面化するようになったと思うと回答

- 調査対象者の80%が、パンデミックの期間中、自由に考える時間が増えたことで、自分自身も今まで以上にクリエイティブなアイデアが生まれるようになったと回答
- 成長の促進

これまでは、新規顧客の獲得、新市場への進出、マーケティング活動の強化など、伝統的なメカニズムが主な成長の原動力となっていました。『ハイパーイノベーションの時代』の一環として調査を受けた企業では、直近の会計年度における成長の約半分がイノベーションによるものであるとし、特に以下の要因を挙げています。

- 新しいテクノロジーの採用：16%
- 新製品や新サービス：14%
- 新しい働き方：14%
- 新規クライアント、新規顧客の獲得：12%
- 新規市場への拡大または参入：12%
- マーケティング活動の強化：11%
- 新しいパートナーシップ：10%
- M&A（合併、買収）：4%

このトレンドに乗じるため、ビジネスリーダーたちは焦点を新製品や新サービスに移行しつつあります。調査対象者の69%が今後1年間に研究開発への投資を増やす、また28%が現在のレベルを維持すると回答し、削減を計画していると答えたのはわずか3%でした。

「イノベーションは偶然起こるものではありません。適切なテクノロジーと働き方のもとで、従業員がベストなパフォーマンスを発揮できるよう努めている企業ではイノベーションが可能となり、本調査で明らかになったようなメリットを享受することができます」とミナハンは述べています。